

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)3月7日
所 属 名:東近江農産普及課東部
番 号:D24027
発 信 者 名:和田



政所茶の魅力をテーマに政所茶生産振興会の研修会を開催

2月22日、道の駅「奥永源寺溪流の里」において政所茶生産振興会の研修会が開催され、会員16名の参加がありました。研修会には、(株)Local Commons代表の廣部 嘉祥氏を講師に招き「東京から見た政所茶の魅力」をテーマに講演をいただきました。

廣部氏は滋賀県出身で、東京と滋賀を拠点に、産業創出や事業・商品開発、イベント企画など産地と市場をつなぐ「地域商社」の代表をされています。

講演では、政所茶の魅力を伝える手段として、「政所茶」の生産量の少なさを逆手にとり、政所茶を高級品として限定販売する、独自の味わい・製法・歴史があるからこそできるアプローチを他県の事例を交え提案いただきました。また、現在販売している平番茶のペットボトルは、低カフェインを売りに幼児・子育てママをターゲットに絞り込み、飲み切れる量に容量を減らし売り込むべきとの指摘や、道の駅の茶販売コーナーを見て、商品が並びすぎ購入者は迷って買ってもらえない恐れがあること、試飲ができないのはもったいないなどの指摘を受けました。

廣部氏は、現在政所町の古民家を改装し、地元の人が集まれる場所づくりに取り組んでおられ、将来は政所茶の試飲や販売、地元食材を使い家庭の味を提供できる食堂としての活用を計画されています。参加者からは地元の活性化を目指す取り組みに賛同の声があがり、講演後の意見交換の場では、今後の廣部氏の活動に期待する励ましの声が多く聞かれました。

当課では、魅力ある政所茶を後世に残すため、政所茶の生産振興に向け、拠点となる茶工場の運営や生産組織の取り組みに対し支援していきます。



政所茶で染めた商品（パッチワーク）を紹介する廣部氏



研修会終了後の意見交換の場